

シンプルデータコレクタ
取扱説明書

開発暫定版

2001年10月19日

テクノベインズ株式会社

目次

1	はじめに.....	1
2	仕様.....	2
2.1	最大登録件数.....	2
2.2	対応機種・OS.....	2
2.2.1	Palm 側.....	2
2.2.2	PC(パソコン)側通信ソフト.....	2
3	インストール方法.....	3
4	パソコン側通信プログラムTVComm.....	4
4.1	TVComm の起動.....	4
4.2	TVComm の終了.....	4
4.3	TVComm の機能.....	5
4.4	TVComm.ini.....	6
4.4.1	パラメータの設定説明.....	6
5	Palm 側プログラムの実行.....	8
5.1	Palm アプリケーションから見たシンプルデータコレクタ.....	8
5.2	起動及び終了方法.....	9
5.2.1	起動方法.....	9
5.2.2	終了方法.....	9
5.2.3	読み込みデータの削除方法.....	9
5.3	デモ版での起動画面.....	10
5.3.1	デモ版最初の起動.....	10
5.3.2	ユーザー登録画面.....	10
5.4	マスタの初期読み込み.....	11
5.5	マスタの更新.....	11
6	基本的な操作方法.....	12
6.1	基本的な流れ.....	13
6.1.1	基本的な登録方法の流れ.....	13
6.1.2	基本的な登録方法.....	14
6.2	入力枠の状態説明.....	15
6.2.1	数値入力中.....	15
6.2.2	数値増減中.....	15
6.2.3	レコード確定状態.....	15
6.2.4	備考.....	15
7	シンプルデータコレクタ操作詳細説明.....	16
7.1	メイン画面ボタン説明.....	16
7.2	メニューコマンド.....	17
7.2.1	機能メニュー.....	17
7.2.2	コード登録メニュー.....	17

7.2.3	マスタメニュー	17
7.2.4	Aboutメニュー	17
7.3	コード登録画面	18
7.4	商品コードが見つからない場合	19
7.5	マスター一覧表示	20
7.6	履歴一覧表示	21
8	バーコードの設定	22
9	ファイル仕様について	23
9.1	マスタファイル仕様	23
9.2	マスタファイル例	24
9.3	出力ファイル仕様	25
9.4	出力ファイル例	25

1 はじめに

このたびは、シンプル データ コレクタ(Simple Data Collector 略称 SDC)をご購入いただきましてまことにありがとうございます。

シンプル データ コレクタは Palm OS が動作する PDA で使用できる業務用プログラムです。従来のハンディターミナルと比べ、低価格で高機能、高性能な PDA をハードウェアデバイスとして使用しました。

どなたにでも気軽に棚卸や発注など、商品などのコード入力を簡単に行っていただけるソフトウェアです。

どなたでも簡単にご使用いただけますよう、数多くの工夫が行われています。

皆様の業務にぜひご活用いただけますと幸いです。

開発暫定版

2 仕様

2.1 最大登録件数

下記最大件数は、プログラム設計上の最大容量です。お使いの PDA のメモリ残量やリソース残量により、最大件数までのご使用できない場合がございます。

マスタデータ 最大登録件数	3 万件
商品入力 最大登録件数	1 万件

マスタデータは必須ではありません。

2.2 対応機種・OS

2.2.1 Palm 側

PalmOS3.5 の下記の機器で確認を行っております。

SPT1500	Symbol
Visor- Platinum	Hand Spring
Visor-Prism	HandSpring

バーコードを使用しない場合、下記の機種での確認を行っております。

Palm M100	Palm Computer
Palm c	Palm Computer

Palm OS3.1(ROM)の Visor-Deluxe では、OS 内部関数が異なるため動作しません。

シンプル データ コレクタはシリアルインターフェースを使用して通信を行います。Visor などの USB クレドールは通信形式が異なります。Visor など USB クレドール標準添付商品につきましては、シリアルクレドールもしくはシリアル通信ケーブルを別途ご購入ください。

2.2.2 PC(パソコン)側通信ソフト

対応 OS : Windows98SE, Windows Me

3 インストール方法

シンプル データ コレクタをご使用いただく為には、PDA 及び PC 双方にプログラムをインストールする必要があります。

また、シンプル データ コレクタのインストールには PalmDeskTop を使用します。

PC に転送用プログラム TVComm をインストールします。

TVComm はシリアルポートを制御し、Palm と通信を行います。

Palm 側には SDC.prc というプログラムをインストールします。

Palm のインストールには Palm Desktop を使用してインストールしてください。
Palm Desktop でのプログラムインストールは Palm Desktop の説明書をご覧ください。

開発暫定版

4 パソコン側通信プログラム TVComm

TVComm はパソコン側にインストールし、PDA とデータの通信を行うプログラムです。独自の通信手順にてシリアルインターフェースを使用して通信を行います。

注意:

TVComm と Palm Desktop は、同じシリアルポートを使用して通信を行いますので、Palm Desktop の HotSync との同時使用はできません。

インストール終了後に Palm Desktop は終了してください。

4.1 TVComm の起動

Windows から、インストールした TVComm を実行します。

TVComm は起動直後は画面下のツールバーに入ります。

ツールバーをクリックすると TVComm ダイアログ画面が表示されます。



転送中は、ダイアログ中央の (白) が、 (赤) になりますので転送を確認できません。

4.2 TVComm の終了

TVComm を終了する場合、ダイアログの終了ボタンまたは右上 × 閉じるボタンで終了します。

ダイアログは、タスクバーボタンまたは最小化ボタンで再びツールバーに入ります。

通信終了後、TVComm を自動的に終了することもできます。設定方法は TVComm.ini の説明をご覧ください。

4.3 TVComm の機能

TVComm は Palm 側プログラムと、以下のデータの通信を行います。

- Palm 側データの受信
- Palm 側へマスタファイルの送信

TVComm を起動すると、ホストとして待機をし、Ini ファイルで指定されたポートを監視し、PDA からの通信を待ちます。

通信は、Palm 側の通信ボタンにより開始されます。シンプル データ コレクタ実行中は、クレドールの HotSync ボタンでも通信開始できます。シンプル データ コレクタが実行されていないときに HotSync ボタンを押すと、通常のホットシンクが開始されます。

マスタファイルを指定フォルダに入れておくと、通信時の最後にマスタの転送を行います。マスタの更新は、通信時に自動的に行われます。Palm 内部に記録されているマスタデータと、Ini ファイルで指定されたマスタファイルのサイズや生成日時が同じ場合やマスタファイルが指定されていない場合、マスタ転送は行われません。

開発暫定版

注意:

データ受信端末として、複数台のパソコンをランダムに使用される場合、各パソコンに配置するマスタファイルは同じ物をコピーしてご使用ください。パソコンごとに生成日時が異なると、異なるパソコンへ接続するたびにマスタ転送が発生します。

フロッピーなどメディア間でコピーした場合、生成日時もコピーされますが、各パソコン個別にインターネットなどからダウンロードした場合、ダウンロードした日時がそのファイルの生成日時になります。その場合、そのダウンロードしたファイルを他のパソコンへコピーすることで生成日時もコピーされます。

備考:

Palm Desktop と異なり、TVComm はデータ通信専用です。専用プロトコルにて接続を行いますので、パソコンウイルス等を Palm 内部へ送り込む心配はありません。

RcvFMT には以下の書式が指定できます。

YYYY: 年 MM: 月 DD: 日 HH: 時 NN: 分 SS: 秒 を示します。
(日時は、ファイル生成時の PC 内部のカレンダー・クロックが使用されます。)

DDHHNNSS	日時分秒
MMDDHHNN	月日時分
YYYYMMDD	年月日
MMDD	月日
HHNNSS	日時分秒
NNSS	分秒
HHNN	時分
DDHHNN	日時分
SS	秒
MM	月
HH	時
DD	日
NN	分
COUNT	カウント

例

RcvNAME=TV
RcvFMT=DDHHNN
RcvEXT=.TXT

開発暫定版

を設定した場合、ファイル生成が 20 日 13: 50 に Palm からデータを受信すると TV201350.TXT というファイル名で指定されたフォルダに受信データファイルが作成されます。

データ処理後、受信処理側がファイルを削除してください。

TVComm のインストールされた Path(実行 Path) の中に、実行形式のファイル (*.exe) をおき、[PATH 2]セクションの中で PostEXE=*.exe を定義すると、データ受信後に指定した実行ファイルが起動されます。

5 Palm 側プログラムの実行

5.1 Palm アプリケーションから見たシンプル データ コレクタ

いくつかの点でシンプル データ コレクタは、他の Palm アプリケーションと異なります。業務用として、初めてお使いになる方から、熟練された方まで、すばやく・間違いなく・迷いなくお使いいただけるように、あえて通常の操作方法と異なった使いかたをしています。

以下にその主な相違点をあげます。

	標準的な Palm アプリケーション	シンプル データ コレクタ
ハードウェアキーを押した場合の機能	実行中のアプリケーションを中断し、他のアプリケーションを起動する	シンプル データ コレクタの機能実行
デジタイザ部	Graffiti による手書き入力	Graffiti は使用禁止
入力確定方法	入力ただけで確定	登録ボタンにより確定
基本的な入力方法	Graffiti による特殊手書き記号認識	テンキーボタン、ハードウェアキー
プログラムの終了	なし(他のアプリを起動)	あり。ホームキーにて終了
PC との通信	PalmDeskTop による通信	独自機能による通信
HotSync ボタン	アプリケーションを中断し、HotSync を実行	コード登録中はボタン無視。メイン画面ではデータ転送実行

5.2 起動及び終了方法

5.2.1 起動方法

シンプル データ コレクタは SimpleData というアイコンで表示されています。このアイコンをタップすることで起動します。



5.2.2 終了方法

メイン画面表示中に、デジタイザ部分のアイコンのホームキーを押すことで、Palmメニューへ戻ります。登録入力作業中にはアプリケーションを中断できません。



5.2.3 読み込みデータの削除方法

データを PC へ送信し、次の入力を行う際に確認ダイアログが表示され、送信済みデータの削除を行います。データ削除を行わないと次の登録は行えません。

データ削除を行うまでは、メイン画面から何回でも再送信することが可能です。

メニュー操作を行うことで、送信済みフラグを解除し、送信済みデータに追加登録することや、強制的に登録データの全削除を行うことができます。

また、通信終了時にマスタ更新が行われます。

5.3 デモ版での起動画面

5.3.1 デモ版最初の起動

デモ版は出荷時期により、使用期限が設定されています。



5.3.2 ユーザー登録画面

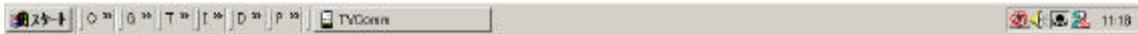
登録開始を押しますと、ユーザー未登録の場合、登録画面が表示されます。

デモ版では正式には、ユーザー登録画面は登録できません。登録ボタンを終了を押して仮登録でキャンセルしてください。最初の1回のみ表示されます。



5.4 マスタの初期読み込み

商品コード名称マスタを読み込みます。
パソコン側の TVComm を起動してください。



起動すると画面下のツールバーに TVComm が表示されます。

通常はダイアログ画面は表示されません。

(通信ポートの初期設定が終わってない場合、TVComm.ini の説明を参照して初期値の設定を行ってください。)

TVComm 起動後、シリアルクレドールまたはシリアルケーブルに Palm を接続します。シンプル データ コレクタのメイン画面で、「送信」ボタンまたはクレドールの HOTSYNC ボタンを押すと通信が開始されます。(シンプル データ コレクタ実行中は HotSync ボタンを押しても、PalmDesktop の HotSync は行われません。)

通信ステータスが画面下の枠に表示されます。

正常に通信が完了すると「通信完了」が表示されます。

5.5 マスタの更新

PC 側指定フォルダに入っているマスタと Palm 側のマスタの日時とファイル容量を送信の後にチェックします。それらが異なっている場合、自動的にマスタを更新します。PC 側のマスタを削除しても、その場合、Palm 側の削除は行いません。(Palm 側のメニューでマスタ削除します。)

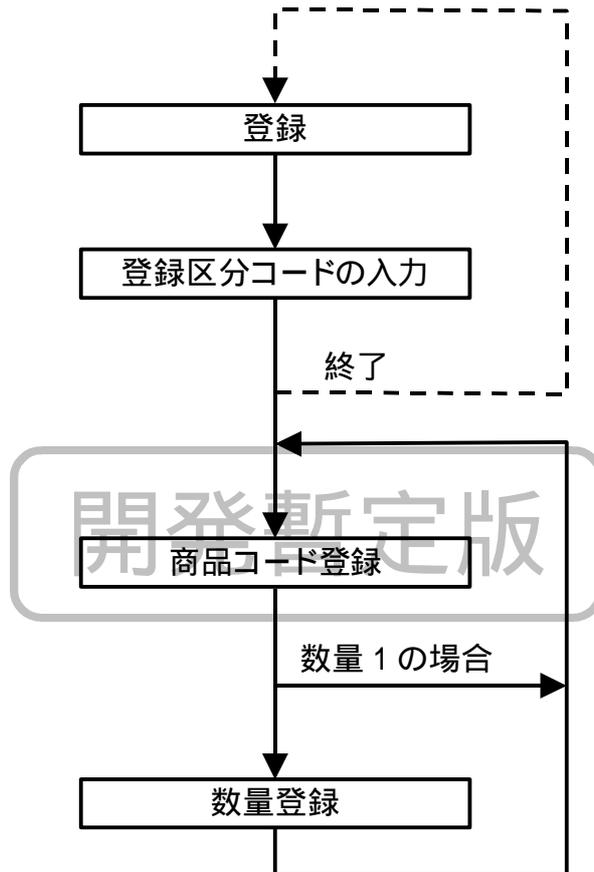
6 基本的な操作方法



開発暫定版

6.1 基本的な流れ

6.1.1 基本的な登録方法の流れ



6.1.2 基本的な登録方法

登録画面の登録区分 商品コード 数量の順に入力を行います。

入力される枠は太線 反転などで示されます。

最初に登録区分コードを入力します。

登録区分コードは棚番号や操作番号などとして自由にご使用できます。

登録区分コードは8桁までの数字が使用できます。

登録区分コードを入力したら最後に登録ボタンを押します。



商品コードを入力します。

商品コードは以下の方法で入力できます。

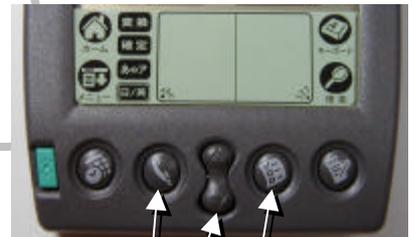
- ・ バーコードをスキャンする
- ・ タッチパネルのテンキーボタンから入力し、登録ボタンを押す。
- ・ マスター一覧から選択する。

数量を入力します。

バーコードが使用できる場合で、登録数量が1の場合、次のバーコードを入力することで、数量1として登録され、連続して登録ができます。

数量は以下の方法で入力できます。入力後に登録キーを押します。

- ・ 上()下()キー(±1)、上下キーの両サイドのキー(±10)
- ・ タッチパネルのテンキーボタンからの入力
- ・ -(マイナス)キー 押すごとに+ - が切り替わります。



以降は、 の繰り返しになります。

数量が確定している状態で終了ボタンを押すとメインメニューへ戻ります。

PDA 下部のハードウェアキースイッチは入力状態により機能が変化します。

多くの場合、画面の機能ボタンと同じ並びなので配置されています。

6.2 入力枠の状態説明

入力枠の表示により、入力状態を知ることができます。

6.2.1 数値入力中

入力途中(未確定)の項目枠は太線で示されます。

正しく入力を行った後、登録ボタンで入力を確定します。確定していないとき、クリアボタンを押すと入力された内容がクリアされます。

コード登録			Total: 0
登録区分	商品コード	数量	
1234	123		
7	8	9	終了
4	5	6	履歴
1	2	3	登録
クリア	0	マス	

6.2.2 数値増減中

上下キーなどで数値を増減している間は、入力部分の画面が反転します。この状態のとき、テンキーから新たに数値を入力すると、増減により入力中の値はクリアされ、テンキーから入力された数値が優先されます。

コード登録			Total: 0
ざくらんぼ			
登録区分	商品コード	数量	
1234	1028		
7	8	9	終了
4	5	6	履歴
1	2	3	登録
クリア	0	マス	

6.2.3 レコード確定状態

商品コード、数量が確定すると1レコードの登録が完了します。レコードが確定すると、入力枠が点線表示に変わります。この状態で1つのレコードの登録が完了します。この状態のときテンキーから数値入力を行うと商品コードへの数値入力モードになります。

また、バーコードからの入力も受け付けます。

コード登録			Total: 1
ざくらんぼ			
登録区分	商品コード	数量	
1234	1028	1	
7	8	9	終了
4	5	6	履歴
1	2	3	登録
クリア	0	マス	

6.2.4 備考

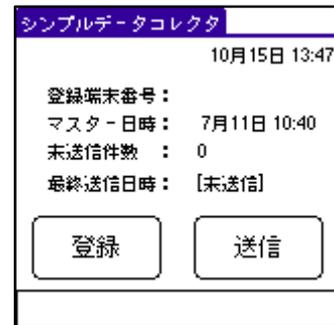
全入力確定が行われていない状態で、クリアボタンで数量を取り消せます。また、数量を取り消した状態でクリアボタンを押すことで入力途中の商品コードをクリアできます。その場合、入力途中の商品コードは記録されません。

7 シンプル データ コレクタ操作詳細説明

7.1 メイン画面ボタン説明

メイン画面では2つのボタンがあります。

ボタン名	機能
登録	コード登録を行います。 コード登録画面へ切り替わります。
送信	入力されたデータを送信します。 送信後、マスタの受信を行います。 誤って、送信を押してしまった場合、キーをしばらく押すことで、通信を中断できます。



また、メイン画面表示中はデジタイザ部のアイコン表示されたキーによりいくつかの機能があります。

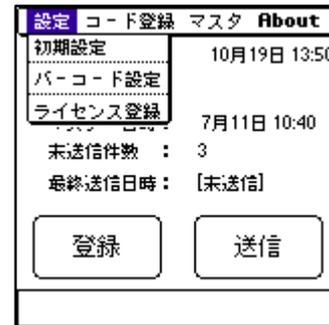
キー名	機能
 ホーム	シンプルデータコレクタを終了し、通常のPalmのメニューへ戻ります。ハードウェアキーでの他のアプリケーション起動は禁止されます。
 メニュー	メニューを表示します。シンプルデータコレクタ実行中は、メインメニューのタイトル部分をタップしてもメニューが表示されません。



メニューバーの表示は、再度メニューキーを押すことでメニュー表示を消すことができます。

7.2 メニューコマンド

メイン画面表示中はメニューが使用できます。メニューは以下の項目が実行できます。



7.2.1 機能メニュー

- 初期設定 (デモ版は正しく動作しませんので選択しないでください。)
- バーコード設定 バーコード設定画面 (P.22 参照) を表示します。
- ライセンス登録

7.2.2 コード登録メニュー

- 送信済解除
一旦送信を行うと、次のコード登録開始時に、送信済みデータの削除を求めるメッセージダイアログが出力されます。このメニューを実行すると、強制的に送信済みフラグを未送信の状態にし、追加登録を可能にします。送信済みデータがそのまま残りますので、次回送信時には、既に送信済みのデータも再び送信されます。
- 登録全削除
登録されたデータを全て削除します。登録やり直しの際などで使用します。(この操作では、マスタデータは削除されません。)

7.2.3 マスタメニュー

- 商品マスタ削除
Visor へ登録済みのマスタデータを削除します。
登録済みデータは削除されません。

7.2.4 Aboutメニュー

- About
タイトルが書かれた About ダイアログの表示を行います。

7.3 コード登録画面

コード登録画面の一部のボタンは、入力の状態により機能が変更されます。

コード登録			Total: 0
ざくらんぼ			
登録区分	商品コード	数量	
7	8	9	終了
4	5	6	履歴
1	2	3	登録
クリア	0	マスタ	

コード登録			Total: 0
ざくらんぼ			
登録区分	商品コード	数量	
12345678	1028	1	
7	8	9	終了
4	5	6	履歴
1	2	3	登録
クリア	0	-	

コード登録			Total: 1
ざくらんぼ			
登録区分	商品コード	数量	
12345678	1028	1	
7	8	9	終了
4	5	6	取消
1	2	3	登録
クリア	0	-	

通常入力時

数量入力時

既入力の訂正時

数量入力時

マスター一覧表示ボタン マイナス値入力ボタン

既入力の訂正時

マスタボタン マイナスボタン

履歴ボタン 取消ボタン

ボタン名	機能
0 ~ 9	数字入力ボタン
クリア	入力中の文字列をクリアします。 数量入力中、クリアした状態でクリアを押すと、その商品コードへの登録を中止します。 商品コードがクリアした状態でクリアを押すと、コード登録を終了します。
登録	入力を確定します。
終了	数量確定後、このボタンでコード登録を終了しメインメニューへ戻ります。
マスタ	マスター一覧表示を行います。
履歴	過去に入力された履歴一覧を入力順で表示します。登録区分が未設定の状態の場合は、全ての入力の履歴一覧を表示し、登録区分が入力済みの場合、その登録区分の入力済み履歴一覧を表示します。
-	数値のマイナス登録を行います。押すごとに±が切り替わるトグル動作です。
取消	データベースから削除します。履歴一覧の修正画面で使用できます。

7.4 商品コードが見つからない場合

商品マスタが読み込まれていない場合や、該当商品コードが登録されていない場合、コード登録画面の商品名欄に「未登録 : 商品コード」が表示されます。

コード登録		Total: 2	
未登録 : 56789			
登録区分	商品コード	数量	
1234	56789	1	
7	8	9	終了
4	5	6	履歴
1	2	3	登録
クリア	0	-	

履歴一覧では商品マスタ未登録コードの場合、商品名の位置に「??商品コード」が表示されます。

登録内容一覧表示			
#	区分	商品名	数量
001	1234	さくらんぼ	1
002	1234	??56789	1

戻る (前頁) (次頁) (訂正)

開発暫定版

7.5 マスター一覧表示

商品マスタが読み込まれている場合、商品マスタ一覧を表示できます。

表示だけでなく、商品マスター一覧から商品を選択して、商品の登録ができます。

(商品マスタ読み込みは必須ではありません。)



ボタン名	機能
戻る	マスター一覧画面を終了してコード登録画面へもどります。
前頁	マスタが1画面に入りきらない場合、1画面分前(商品コードの小さい)の商品一覧を表示します。
次頁	マスタが1画面に入りきらない場合、1画面分次(商品コードの大きい)の商品一覧を表示します。
選択	反転表示されている商品を選択して、コード登録画面へもどります。
	選択(反転)位置を1つ変更します。

画面に表示された商品を直接タップすると、その商品が選択状態となります。登録する場合、選択ボタンを押します。

右側のスクロールバーにより、表示画面をスクロールすることができます。

7.6 履歴一覧表示

送信されていない登録データの一覧を表示します。

履歴一覧表示は2通りあり、登録区分入力待ち（登録区分が未入力の状態）は全てのデータ履歴が表示されます。

登録区分が入力されている状態では、その登録区分における一覧が表示されます。

表示だけでなく、履歴一覧から登録データを選択して、数量の変更及びレコード削除が行えます。履歴は入力した順に表示されます。

画面表示時は最後の入力商品レコード位置が選択されていますので、最後の入力を取り消す場合、訂正 取消で最後の入力レコードを削除することができます。

#	区分	商品名	数量
002	1234	パパイヤ	3
003	1234	レモン	3
004	1234	グレープフルーツ	6
005	1234	西瓜	23
006	1234	スモモ	1
007	1234	柿	-1
008	1234	菫	9
009	1234	メロン	6
010	1234	梨	66
011	1234	マンゴステン	7

ボタン名	機能
戻る	マスター一覧画面を終了してコード登録画面へもどります。
前頁	マスタが1画面に入りきらない場合、1画面分前（商品コードの小さい）の商品一覧を表示します。
次頁	マスタが1画面に入りきらない場合、1画面分次（商品コードの大きい）の商品一覧を表示します。
訂正	反転表示されている商品を選択して、コード登録画面へもどります。訂正モードでコード登録画面へ戻った場合、数量訂正が行えます。また、画面の履歴ボタンが取消ボタンとなり、そのレコードの取消が行えます。訂正モードを選択した場合でも、クリアボタンを2回押し、商品コードを取り消すことで訂正を取りやめることができます。
	選択（反転）位置を1つ変更します。

画面に表示された商品を直接タップすると、その商品が選択状態となります。

右側のスクロールバーにより、表示画面をスクロールすることができます。

商品コードが商品マスタに未登録の場合、商品名欄に「?? 商品コード」が表示されます。

#	区分	商品名	数量
001	1234	パパイヤ	3
002	1234	レモン	3
003	1234	西瓜	23
004	1234	スモモ	1
005	1234	菫	9
006	1234	メロン	6
007	1234	?? 22	1
008	1234	?? 4543340123456	1

8 バーコードの設定

SPT1500 もしくは CSM150 を使用している場合、メイン画面でメニュー（P.17 参照）にバーコード設定メニューが表示されます。

これをタップするとバーコード設定画面が表示されます。

この画面では使用するバーコードの種類及び機能を設定できます。

BARCODE 設定	
<input checked="" type="checkbox"/>	JAN
<input type="checkbox"/>	CODE39
<input type="checkbox"/>	CODE128
<input type="checkbox"/>	CODABAR
<input type="checkbox"/>	Start
<input checked="" type="checkbox"/>	Tトリガ
<input type="checkbox"/>	WIDE
<input checked="" type="checkbox"/>	2Check
OK	

表示	チェックした場合の機能
JAN	JAN コードの読み込みを許可します。
CODE39	CODE39 の読み込みを許可します。
CODE128	CODE128 の読み込みを許可します。
CODABAR	CODABAR(NW-7)の読み込みを許可します。
START	CODABAR の START/STOP コードもデータとして取り込みます。
Tトリガ	Tトリガを有効にします。(下記参照)
WIDE	スキャナの読み取りビーム幅を広げます。
2Check	2回(チェック)読取を行います。

Tトリガ：Visor を使用する場合、レーザトリガボタンがありません。

Visor 本体下のハードキーもトリガとして使用しますが、操作性が悪いです。

Tトリガを有効にすると、タッチパネル画面の上部約1/4の画面すべてがレーザトリガとして使用できるようになります。本体を左右どちらの手で持っても、その範囲の画面をタッチすることでトリガが可能となります。また、その部分には表示のみを集中させていますので、他の入力操作に影響はありません。Tトリガは SPT1500 でもご使用いただけます。

Tトリガはテクノベインズオリジナルの機能です。

Top(画面トップ), Touch(タッチ), TechnoVeins(テクノベインズ) などから名づけました。

9 ファイル仕様について

ファイルは CSV 形式です。

メモ帳や Excel、Access などにより作製や、読込、加工ができます。

9.1 マスタファイル仕様

ファイル形式: CSV

先頭2行は制御文字列であり、データではありません。

第1行目

フィールド1: H
フィールド2: Format Version
フィールド3: 8 (有効フィールド数)
フィールド4: MST (ファイル ID)
フィールド5: ヘッダー後のスキップ行数 (現フォーマットでは 1)
フィールド6: 登録日付 YYMMDD のテキスト形式
例 2001/06/30 => 010630(未使用)
フィールド7: 登録時刻 HHMMSS のテキスト形式
例 14:34:56 => 143456(未使用)
フィールド8: C(コメントヘッダー)

第2行目

フィールド1: T
フィールド2 ~: フィールド名 (未使用)

第3行目以降 データレコード

フィールド1: 送信フラグ 0: 非送信, 0以外: 送信
将来的にこのフィールドは更新情報となるため、送信する場合は1を指定。もし、このフィールドが0のデータが送られてきた場合、受信側はレコードを廃棄する
フィールド2: 分類コード (未使用)
フィールド3: 商品コード (最大 13 桁)
フィールド4: 商品名 (最大 26 バイト)
フィールド5: 数量 (未使用)
フィールド6: 登録日付 YYMMDD のテキスト形式 例 2001/06/30 => 010630
フィールド7: 登録時刻 HHMMSS のテキスト形式 例 14:34:56 => 143456
フィールド8: コメント

9.2 マスタファイル例

H,1,8 ,MST,1,10606,171100,C	ヘッダー1
T,No,Item,Name,Qty,Date,Time,Comment	ヘッダー2
1,0,1010,リンゴ,1,,,	
1,0,1011,ミカン,1,,,	
1,0,1012,バナナ,1,,,	
1,0,1013,パイナップル,1,,,	
1,0,1014,葡萄,1,,,	
1,0,1015,苺,1,,,	
1,0,1016,キウイ,1,,,	
1,0,1017,メロン,1,,,	
1,0,1018,グレープフルーツ,1,,,	
1,0,1019,マンゴスチン,1,,,	
1,0,1020,ドリア,1,,,	
1,0,1021,西瓜,1,,,	
1,0,1022,桃,1,,,	
1,0,1023,梨,1,,,	
1,0,1024,レモン,1,,,	
1,0,1025,オレンジ,1,,,	
1,0,1026,柿,1,,,	
1,0,1027,ライチ,1,,,	
1,0,1028,さくらんぼ,1,,,	
1,0,1029,パパイヤ,1,,,	
1,0,1030,マンゴ,1,,,	
1,0,1031,スモモ,1,,,	
1,0,1032,洋ナシ,1,,,	

開発暫定版

9.3 出力ファイル仕様

ファイル形式: CSV

データレコード仕様

フィールド1: 端末 ID

フィールド2: テーブル番号

フィールド3: 注文コード

フィールド4: 注文数量

フィールド5: 登録日時 フォーマット 2001/06/30 14:04:56

9.4 出力ファイル例

10,2,1028,1,2001/07/11 10:43:27

10,2,1018,1,2001/07/11 10:44:52

10,2,1017,1,2001/07/11 10:44:54

10,2,1015,1,2001/07/11 10:44:55

10,2,1014,1,2001/07/11 10:44:56

10,2,1013,1,2001/07/11 10:44:57

10,2,1012,1,2001/07/11 10:44:57

10,2,1011,1,2001/07/11 10:44:58

10,2,1010,1,2001/07/11 10:45:00

10,2,1021,1,2001/07/11 10:45:03

10,2,1020,6,2001/07/11 10:45:08

10,2,1018,1,2001/07/11 10:45:17

開発者版

タイトル シンプル データ コレクタ

取扱説明書
開発管理版

初版発効日 2001 年 10 月 19 日

編集管理番号 5

版数 第 1.00 版

著作者 Naoya Takaku

管理ファイル Simple Data Collector 説明書k.doc

発行元 テクノベインズ有限公司
〒125-0062 東京都葛飾区青戸 5-31-7
FRM ビル4階
電話:03-3601-7460